



2022年5月25日

各位

会社名 富士古河E&C株式会社
代表者名 代表取締役社長 日下 高
(コード：1775 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営企画本部長 小田 茂夫
(TEL.044-548-4500)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2022年5月25日開催の取締役会において、下記のとおり2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年4月26日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	130円00銭	100円00銭	90円00銭
配当金総額	1,169百万円	—	809百万円
効力発生日	2022年6月22日	—	2021年6月7日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績(2022年3月期)	0円00銭	130円00銭	130円00銭
前期実績(2021年3月期)	0円00銭	90円00銭	90円00銭

2. 理由

当社は、グループの収益力向上により株主資本の充実を図り、経営基盤を強化し、将来の成長に必要な投資等のための内部留保を確保するとともに、株主の皆様へ利益還元を図ることを基本方針としております。この基本方針のもと、安定的かつ継続的に実施することとし、当期の業績、今後の事業展開へ向けた投資計画及び経営環境等を総合的に勘案し、配当金額を決定いたします。

上記の方針に加え、2019年度を初年度とする中期経営計画『Next Evolution 2023』において、配当性向30%以上を目標としており、この方針と目標のもと、2022年3月期の期末配当金につきましては、1株につき130円とさせていただきます。

なお、本年4月26日に公表のとおり、過年度の退職給付債務の会計上の見積りに誤りがあったことが判明し、過年度の有価証券報告書を訂正することといたしました。関係者の皆様にご多大なご迷惑とご心配をおかけしてしまいましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

以上